

PRESS RELEASE

令和7年度企画展

浮世絵東海道旅の空—隸書東海道を中心に—

2026年1月22日（木）～3月29日（日）



弘化4～嘉永5年（1847-52）に広重が手掛けた「東海道」は、作品名が隸書体で書かれていることから「隸書東海道」と通称されます。「東海道五拾三次之内」（通称、保永堂版東海道）の大ヒットから10年余りが経ち、画業の円熟期に入った広重による「保永堂版東海道」の後継作品ともいえるシリーズです。景色を広角で捉えた構図と丁寧かつ鮮やかな摺り、街道を行き来するさまざまな人々の姿を通じて、東海道の旅路を魅力的に描き出しました。本展では「隸書東海道」全55図のみならず、他の東海道揃物からも出品。皆さまを江戸時代の旅の空へご案内します。

【概要案内】

展覧会名 | 浮世絵東海道旅の空—隸書東海道を中心に—

会期 | 2026年1月22日（木）から3月29日（日）

前期 | 1月22日（木）から2月23日（月・祝）

後期 | 2月27日（金）から3月29日（日）

※前・後期で全点展示替えいたします

休館日 | 毎週月曜日（ただし2月23日は除く）、2月12日（木）

展示替え期間（1月24日（火）から26日（木））

開館時間 | 午前9時30分から午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料金 | 一般520円（20名以上の団体は420円）

※18歳以下無料

※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

※毎週水曜日はフリーウエズデー、毎週金曜日はフリーフライデー（共に終日観覧無料）

※毎月第1日曜日は「市民の日」で恵那市民に限り観覧無料

会場 | 中山道広重美術館 展示室1（〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1）

主催 | 恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館

出品点数 | 84点

【本展の見どころ】

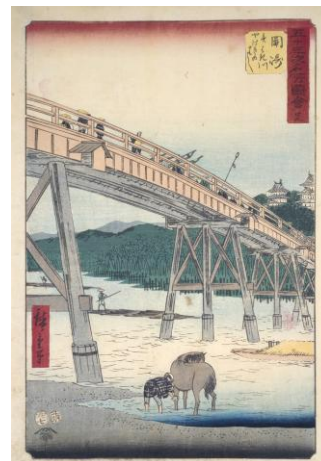
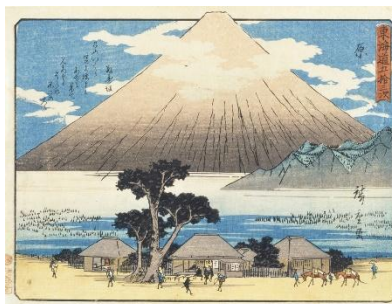
摺師の丁寧な仕事ぶりが光る「隸書東海道」

本揃物の特徴の一つは、鮮やかな色彩と摺りの技術の高さです。ぼかし摺りを駆使し、画面に自然な奥行きと、透明感までをももたらします。当館で所蔵する作品は摺り・保存状態いずれも良好なため、「隸書版東海道」の持ち味を存分に味わっていただけます。

「隸書東海道」以外の作品も！シリーズを横断して東海道中を楽しめる

広重は生涯にわたって東海道を描き続け、その数は 20 を超えるといわれます。本展では「隸書東海道」の他、広重の代表作である「保永堂版東海道」や、画中に狂歌の書き込まれた中判の「東海道五拾三次」（通称、狂歌入東海道）、豎構図の東海道揃物である「五十三次名所図会」（通称、豎絵東海道）などからも出品。異なるシリーズの作品を見比べながら、東海道の旅路をお楽しみください。

【主な出品作品】



上段左：歌川広重「東海道 十一 五十三次 箱根」当館蔵（前期展示）

上段右：歌川広重「東海道 四十四 五十三次 四日市」当館蔵（後期展示）

下段左：歌川広重「東海道五拾三次之内 庄野 白雨」当館蔵（後期展示）

下段中：歌川広重「東海道五拾三次 原」当館蔵（前期展示）

下段右：歌川広重「五十三次名所図会 卅九 岡崎 矢はき川やはきのはし」当館蔵（後期展示）

【関連イベント】

担当学芸員による作品ガイド

日 時| 前期 2 月 1 日（日） 後期 3 月 1 日（日） 各日午前 10 時 30 分から 30 分程度

場 所| 展示室 1

【お問い合わせ】

中山道広重美術館 担当：宮下真千子（学芸係）

TEL/FAX 0573-20-0522/0573-25-0322

E-mail staff@hiroshige-ena.jp（学芸共通）



中山道広重美術館公式 HP